

## 「攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業 (うち産学の英知を結集した革新的な技術体系の確立)」の 研究計画発表会の開催について

### ポイント

- 農研機構生物系特定産業技術研究支援センター (以下「生研センター」という。) では、「攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業 (うち産学の英知を結集した革新的な技術体系の確立)」について 10 の研究課題の 6 4 の試験研究を採択しました。
- この度、採択した試験研究について、各研究代表機関等の研究者から試験研究計画の概要、研究目標等についてご説明する発表会を T K P 大手町ビジネスセンターにて開催します。  
本発表会は公開で行いますので、関係者をはじめどなたでもご参加いただけます。

### 概要

攻めの農林水産業を実現するため、①消費者ニーズや民間の技術開発ニーズに立脚し、輸出拡大をも視野に入れた新品種や新技術による強みのある農畜産物づくり、②大規模経営における省力・低コスト生産体系の確立、③民間の技術力の活用などにより、従来の限界を打破する生産体系への転換を進めることが急務となっています。

このため、生研センターでは、平成 25 年度補正予算で措置された「攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業 (うち産学の英知を結集した革新的な技術体系の確立)」を、国から交付された運営費交付金により実施することとしております。

つきましては、民間、大学、独法などのオールジャパンの英知を結集して、下記のとおり革新的な技術体系を確立するための実証研究の研究計画発表会を開催いたします。

報道関係者等におかれましては、本発表会の開催を広くご案内いただきますとともに、当日、ご参加の上、紙面、番組等でご紹介いただければ幸いです。

### 記

開催日時 : 平成 26 年 6 月 5 日 (木) 10:00~17:00  
6 月 6 日 (金) 10:00~18:30

開催場所 : T K P 大手町ビジネスセンター 2 階ホール 2 A、2 B  
〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-1-2 第 5 中央ビル  
TEL:03-5227-8761

<http://tkpotemachi.net/bc/access.shtml>

プログラム： 別紙のとおり

定 員： 2階ホール2A 153名  
2階ホール2B 135名

#### 参加申込み

当日の申込みも受け付けますが、会場準備の都合上、事前申込みのご協力をお願いいたします。参加を希望される方は、氏名、連絡先、人数、傍聴を希望する日にち（午前・午後等）を記載の上、下記の問い合わせ先までFAXあるいはメールでお申込み願います。なお、傍聴希望者が定員になり次第、申込み受付を締め切らせていただく場合がございますので、あらかじめ御了承ください。

#### 取材申込み等

当日の取材を希望される方は、FAXあるいはメールに（1）氏名、（2）所属機関名、（3）ご連絡先（メールアドレス、電話番号等）、（4）カメラ等の撮影の有無を記載の上、6月3日（水）までに下記の問い合わせ先までお申込み願います。ただし、当日の発表スライド等の撮影は禁止いたします。

#### 問い合わせ先

農研機構生物系特定産業技術研究支援センター新技術開発部基礎的研究課  
TEL 048-669-9190 FAX 048-666-9267（担当：高瀬、鈴木、伊藤）  
e-mail：kisoken@ml.affrc.go.jp

本資料は筑波研究学園都市記者会、農政クラブ、農林記者会、農業技術クラブに配付しています。

※農研機構（のうけんきこう）は、独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構のコミュニケーションネーム（通称）です。新聞、TV等の報道でも当機構の名称としては「農研機構」のご使用をお願い申し上げます。

**攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業  
 (うち産学の英知を結集した革新的な技術体系の確立)  
 研究計画発表会プログラム  
 6月5日(木)、6月6日(金)於:TKP大手町ビジネスセンター**

10:00～ 10:05	冒頭挨拶(ホール2A)	発表	1課題12分
10:05～ 10:20	趣旨説明(ホール2A) (独)農研機構生研センター	表記	研究計画課題名 【研究機関名等】

6月5日(木)				
時間	分野	第1会場(ホール2A)	分野	第2会場(ホール2B)
10:30～ 11:00	水田	中山間地等条件不利地の集落営農法人における軽労・効率的作業管理技術を核とする水田作の実証 【革新的技術(水田作)コンソーシアム】	鳥獣	ICTを用いたシカ、イノシシ、サルの防除、捕獲、処理一貫体系技術の実証 【ICTによる防除・捕獲・処理一貫体系技術研究グループ】
	水田	農業生産法人が実証するスマート水田農業モデルIT農機・圃場センサー・営農可視化・技能継承システムを融合した革新的大規模稲作営農技術体系の開発実証 【農匠ナビ1000(次世代大規模稲作経営革新研究会)】	鳥獣	ローカライズドマネジメントによる低コストシカ管理システムの開発 【革新的シカ管理技術研究グループ】
		質疑応答		質疑応答
11:00～ 11:30	水田	北信越地域における高性能機械の汎用利用と機械化一貫体系を基軸とした低コスト・高収益水田輪作体系の実証 【北信越水田輪作コンソーシアム】	林野	コンテナ苗を活用した低コスト再造林技術の実証研究 【独立行政法人森林総合研究所】
	水田	温暖地における業務用多収品種と省力栽培技術を基軸とする大規模水田高度輪作体系の実証 【温暖地水田輪作体系コンソーシアム】	林野	広葉樹林化技術の実践的体系化研究 【独立行政法人森林総合研究所】
		質疑応答		質疑応答
11:30～ 12:00	水田	道産米の国際競争力強化と持続的輪作体系の両立のに向けた実証 【北海道水田輪作グループ】	水産	優良アコヤガイの導入等による真珠品質の向上と安定化の実証研究 【独立行政法人水産総合研究センター】
	水田	準天頂衛星の精密測位を活用した農作業の自動化・効率化に関する実証研究 【準天頂衛星の農業利用実証グループ】	水産	ICT技術を応用したホタテガイの精密増養殖管理支援システムの技術開発 【北海道大学】
		質疑応答		質疑応答
12:00～ 13:00		休憩		休憩
13:00～ 13:45	水田	東北日本海側多雪地域における畜産との地域内連携を特徴とした低コスト大規模水田輪作体系の実証 【東北日本海側水田輪作】	水産	二枚貝増産のための革新的環境改善技術体系の確立 【広島大学】
	水田	秋田式水田ロボット除草機の実用化と実証試験 【秋田式水田ロボット除草機】	水産	セミスマートな二枚貝養殖技術の開発と応用 【独立行政法人水産総合研究センター】
	水田	北部九州における稲麦大豆多収品種と省力栽培技術を基軸とする大規模水田高度輪作体系の実証 【北部九州低コスト水田輪作体系実証】	水産	定品質で高い輸出競争力をめざした次世代型ブリ養殖管理システムの開発 【一般社団法人マリノフォーラム21】
		質疑応答		質疑応答

時間	分野	第1会場(ホール2A)	分野	第2会場(ホール2A)
13:45～ 14:15	畜産	肉用鶏生産者収益を向上させる革新的鶏舎LED光線管理技術の実証 【「革新的鶏舎LED光線管理技術の実証」コンソーシアム】	水産	脱Cdイカ内蔵飼料の最適化による高品質ブリ養殖の実証 【愛媛大学】
	畜産	ゲノム解析及び地域資源を活用した特産地鶏「長州黒かしわ」の効率的、省力的な生産技術体系の確立 【国産鶏種の生産性向上コンソーシアム】	水産	養殖ブリ類のストレスレス水揚げシステムと大型魚全自動高速魚体フィレ処理機開発 【鹿児島大学】
		質疑応答		質疑応答
14:15～ 15:00	畜産	イアコン等自給濃厚飼料活用型低コスト家畜生産体系の実証 【北海道酪農・畜産グループ】	水産	定置網漁業の操業支援システムの実証研究 【一般社団法人海洋水産システム協会】
	畜産	九州における飼料生産組織、TMRセンター、子牛育成センターが連携する地域分業化大規模肉用牛繁殖経営の実証 【九州大規模肉用牛繁殖体系実証グループ】	水産	定置網漁業における生産基盤強化システムの開発 【独立行政法人水産総合研究センター】
	畜産	効率的な家畜管理・草地管理法導入による公共牧場および繁殖農家の生産性向上技術の実証 【公共牧場・繁殖農家支援研究チーム】	水産	スラリーアイスを用いた生鮮水産物のスーパーチリング高鮮度流通の実証 【公益財団法人函館地域産業振興財団(北海道立工業技術センター)】
		質疑応答		質疑応答
15:00～ 15:15	休憩		休憩	
15:15～ 16:00	畜産	破砕飼料用米を含む発酵TMR給与が肥育牛の発育、飼料利用性ならびに産肉性に及ぼす影響の実証 【飼料用米利用促進グループ】	果樹	東アジア中元節・中秋節をターゲットにした日本産高級モモの輸出流通システムの構築 【モモ貯蔵・輸送技術開発コンソーシアム】
	畜産	次世代閉鎖型搾乳牛舎における省力・精密飼養環境制御、バイオセキュリティ向上技術の実証 【次世代閉鎖型畜舎開発研究組合】	果樹	マルドリ方式・ICTなどを活用した省力的な高品質カンキツ安定生産技術体系とその実現のための傾斜地園地整備技術の実証 【革新的技術(カンキツ)コンソーシアム】
	畜産	飼料用稲(飼料用米・稲WCS)を最大限に活用した飼料供給システム実証研究 【熊本県飼料用稲活用TMR飼料実証グループ】	果樹	移植翌年に収穫可能なニホンナシ根圏制御栽培法による省力多収技術体系の実証 【根圏制御栽培法実証グループ】
		質疑応答	果樹	革新的技術導入による水稻育苗ハウスを利用した省力低コスト果樹栽培の実証研究 【水稻育苗ハウスを利用した果樹栽培研究コンソーシアム】
16:00～ 16:45	畜産	家畜飼料の完全自給を目指した給与システムの確立 【宮崎県畜産試験場】		質疑応答
	畜産	西南暖地から発信するスマート・サイエンティフィックファーミング～精密飼養管理によりホルスタインの能力発揮と生産性向上・省力化を実現する新たな技術体系の構築 【西南暖地から発信するスマート・サイエンティフィックファーミングコンソーシアム】		
	畜産	移動式搾乳システムの開発による放牧酪農技術の実証 【移動式酪農システム開発普及チーム】		
		質疑応答		

6月6日(金)		
時間	分野	会場(ホール2A)
10:00~ 10:45	畑輪作	寒地畑作地域における省力技術体系とITC活用を基軸としたスマート農業モデルの実証 【十勝スマート農業協議会】
	畑輪作	精密可変施肥システム、および可変施肥対応型散布量制御装置の開発 【株式会社IHIスター】
	畑輪作	IT農業インフラとしてのインターネット接続による高精度位置情報を活用する大規模・省力化推進ネットワークシステムの実証【エス・ティ・ティ・データ・カスタマーサービス(株)】
		質疑応答
10:45~ 11:30	地域作物	サトウキビの安定・多収栽培技術の実証と高バイオマス量サトウキビの生産性評価 【サトウキビ安定・多収】
	地域作物	湛水性作物(産業素材用いぐさ)の導入による新たな水田農業の確立 【湛水性作物(産業用素材いぐさ)導入コンソーシアム】
	畑輪作	暖地における原料用かんしょと加工用露地野菜の大規模機械化生産体系の確立 【かんしょ露地野菜生産技術体系研究コンソーシアム】
		質疑応答
11:30~ 12:00	果樹	省力型樹形を基盤とする果樹の省力・軽労型生産技術体系の実証 【果樹省力・軽労化コンソーシアム】
	地域作物	組換えシルク生産と加工技術の開発による実用化実証研究 【組換えシルク生産技術開発コンソーシアム】
		質疑応答
12:00~ 13:00		休憩
13:00~ 13:45	地域作物	海外輸出に対応できる日本茶生産体系の実証研究 【日本茶海外輸出】
	地域作物	国内需要向け茶生産における高収益生産体系の実証研究 【高収益茶生産技術実証研究】
	地域作物	落花生の超省力生産体系の実証 【落花生超省力化コンソーシアム】
		質疑応答
13:45~ 14:30	野菜・花き	栽培施設リノベーションと6次産業化による攻めのイチゴ生産実証 【攻めのイチゴ生産実証コンソーシアム】
	野菜・花き	地域間連携による低投入型・高収益施設野菜生産技術体系の実証 【地域間連携施設野菜コンソーシアム】
	野菜・花き	農業産業化ジャパンクオリティ・システム形成に向けた革新的生産技術体系の確立 【農業産業化ジャパンクオリティ・システムグループ】
		質疑応答
14:30~ 15:15	野菜・花き	寒地における革新的技術を実装した高収益施設アスパラガス経営の実証 【寒地高収益アスパラガス経営研究グループ】
	野菜・花き	施設園芸栽培作物の低コスト・高品質・周年安定供給技術の確立 【園芸栽培・周年供給技術確立グループ】
	野菜・花き	施設園芸の安定供給を支える花粉媒介用ミツバチの健全飼養技術の実証 【施設園芸用健全ミツバチ】
		質疑応答
15:15~ 15:30		休憩
15:30~ 16:15	野菜・花き	半閉鎖型管理(SCM)による施設果菜・花き類の生産性向上技術の実証研究 【攻めの東海施設園芸】
	野菜・花き	ICTを活用した暖地における施設園芸生産支援システムによる先進的栽培管理技術の確立 【暖地施設園芸コンソーシアム】
	野菜・花き	EOD技術による特産園芸産物の革新的な生産技術実証 【山陰EOD連携研究会】
		質疑応答
16:15~ 17:00	野菜・花き	間欠冷蔵処理によるイチゴの花芽分化促進 【イチゴの間欠冷蔵】
	野菜・花き	南西諸島地域でのきく等花き生産における新たな光源利用技術の実証研究 【攻めの農林水産業(花き・南西諸島)コンソーシアム】
	野菜・花き	ハウス土壌除塩のための養液土耕栽培自動制御システムの開発 【ICTハウス除塩】
		質疑応答
17:00~ 17:45	露地野菜	青切り用調製機を導入したタマネギの省力収穫・調製体系の確立 【タマネギ機械化】
	露地野菜	レタス・キャベツ周年安定供給のための産地間連携・産地内協調支援システムの構築と実証 【レタス・キャベツ安定供給技術開発】
	露地野菜	高度な計画出荷を可能にする集出荷コントロールに関する研究 【おおやアグリ支援クラウドプロジェクト】
		質疑応答
17:45~ 18:00		閉会挨拶